

佳作

「障害」の壁をなくすためには

静岡県 御殿場南高等学校一年 勝又 滉太

二〇一六年七月二十六日午前二時半過ぎ。神奈川県
障害者施設で、十九人の障害者が元職員の男によって尊
い命を奪われた。また、多くの負傷者も出てしまった。
僕は、その事件に対して、怒りと悲しみが生まれた。

「障害者は生きていても仕方がない。」

犯人の男が事件後に述べた。なぜ、障害者は生きていて
も仕方がないのか？僕にはどうしてそのような発言をし
たのか理解できなかった。

僕が小学校低学年の頃、僕には当時中学生だった友達
がいた。その子は知的障害を持っていた。当時、僕は人
と話すことが苦手で人との関わりも少なく、仲の良い友
達も少なかった。しかし、そんな僕に、その子は親しく
接してくれた。優しく話しかけてくれた。僕のことをよ
く考えてくれた。二人で公園で遊んだことや自転車であ
き地を走ったこと、屋根の上で話したこと……。多くの
楽しかった思い出は今でもよく覚えている。けんかをす
ることもなく、お互いが思いやりを持って接していた。

僕はその子を「お兄ちゃん」と呼んでいて、本当の兄の
ように親しみを持っていた。お兄ちゃんと遊ぶことは、
心から楽しいと思っていた。休日はお兄ちゃんと遊ぶこ
とが習慣だったと言っても過言ではないくらいだった。

もちろん、僕はお兄ちゃんが迷惑だと感じたことはな
く、いなくなってしまうことも思ったことなんか言うま
でもなくない。お兄ちゃんが高校生になった時、遊ばな
くなってしまったが、本当はもっと遊びたいと思ってい
た。障害のある人は、お兄ちゃんのような優しい心を持っ
ているのだと、僕は思う。そのような優しい心を持って
いる方はどうして生きていても仕方がないのか。とてもお
かしい話だと思う。

また、この事件は、自分らしく生きている障害者にと
っても大きな傷を与えたと思う。犯人の男の発言は、障
害者の方々を侮辱し、障害者の方々に恐怖を与えたのだ
ろう。障害者差別は、今の日本にとって大きな問題であ
る。では、なぜ、障害者は差別されなければならないの
だろうか？なぜ、障害者は疎外されなければならないの
だろうか？そこには、現代の教育方針が関わっているの
ではないかと思う。最近、世間では、少数派の人々や社
会で弱い立場にある人々を見下すことが多いのではない
かと思う。僕も事件後、インターネットで障害者施設に
ついて調べた時、犯人に共感する声が少なからず散見さ
れた。なぜ、このようなことが書かれているのだろうか？

ショックを受けた。今では、ボランティアやNPO法人が障害者も街に出て暮らせるような取り組みも進んでいるらしい。しかし、施設を作る際に反対されることもあり、苦情を言われたこともあると書いてあった。やはり、原因は教育方針にあるのではないか？現代社会では、障害のある人もない人も、多くの人が互いに尊重し合いながら共に生きていく「共生」の実現を目指している。今回の事件は「共生」の実現への歩みに水を差したのである。もしも、教育が発展し、みんなが互いに尊重し合うような社会になったら、このような事件は起こらないだろうし、障害者差別も発展しないと思う。もしも、今の状態が長引いてしまったら、障害者の方々は、自分らしく伸び伸びと生きることができないかもしれない。互いに支え合いながら一生懸命生きることできなくなってしまうかもしれない。僕は、そのようなことになってほしくないと思う。そのためにも、教育は発展すべきなのだ。

今回の事件を受けて悲しまれた障害者の方々は多いだろう。しかし、そのような方々も世間から隠れて生きていく必要はないだろう。むしろ、世間の人達のように隔たりなく前を向いて生きるべきだ。障害のある人もない人も、みんなが助け合ったり笑い合ったり、時には悲しみ合ったりと、みんなが互いに手を結びながら生きていく「共生」の実現を望んでいる。

人には誰にでも得意なことと苦手なことがある。それは仕方がないことなのだ。そのようなことに関係なく、みんなが自分らしく生きていける、そのような時代が来ることを願いたい。